

*加工食品に使われている食品名については、右記のQRコードを開き「**学校給食加工用原材料一覧**」をご確認ください。



かんしゃしてたべよう ~1月24日から30日までは全国学校給食週間です~

がっこうきゅうしょく

学校給食のはじまり

めいじねん
明治22年(1889年)
やまとがけんのおかし
山形県鶴岡市の小学校で、家が貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために
じょがくせい
食事を出しながらがこの校園を食べよう
だにほん
日本での食事のはじまりです。その後、戦争による食料不足で、いちじょううだんされましたが、
だいにせいかいたせん
第二次世界大戦が終わった後(1945年昭和20年)、外国からの援助資本で再開されることになりました。



めいじねんにほんはつきゅうしょくさかなしおやつけもの
明治22年 日本初の給食 おにぎり 魚の塩焼き 漬物

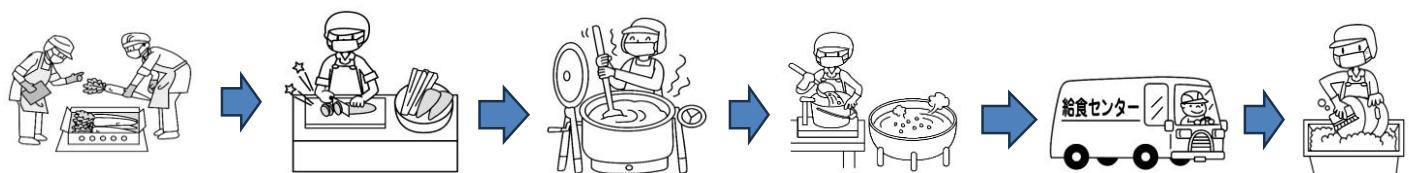
がっこうきゅうしょく やくわり

学校給食の役割

きゅうじょくはじめ とうしき こ えいようきゅうわく おもむきてき げんばい えいよう しょくじく
給食が始まった当初は、子どもたちへの栄養補給が主目的でした。しかし現在は、食事バランスのとれた食事で
子どもたちの心身の発達(健康)を進めるため、さまざまな目標があります。社会性や協同の精神、自然環境への尊重、
労働力を重んずる態度、身心健康や社会について学ぶことなどを目的として、教育活動の一環として行われています。



きゅうしょくが できるまで



7時30分から

やさい 野菜などを受け取ります

やさい あら 野菜を洗ったり、切ったり

したじゆんび

さいりょうかねつ

クラスごとに食缶につぎ分けます

市内8校の小学校へ通ります

13時30分から

あとかたづ

後片語とこと